

千代田ビジネス大賞 エントリー申込書

「エントリー申込書」にご記入の上、FAXでお申し込みください。

FAX:03-3233-7557 公益財団法人まちみらい千代田
産業まちづくりグループ 宛

なお、ホームページからもダウンロードいただけます。(http://www.mm-chiyoda.or.jp)

事務局欄		年	月	日
ふりがな 事業所名				
事業所所在地 〒	-	(連絡担当者) 氏名:		
千代田区		所属:		
TEL:		TEL:		
FAX:		FAX:		
HP:http://		E-mail:		
ふりがな 代表者名:		生年月日:	年	月 日 (歳)
業 種:		常勤役員数:	名	
資本金/元入金:	百万円	従 業 員 数:	名	
創 業(西暦):	年	うち、パート・アルバイト(名)	
法 人 化(西暦):	年	家族従業員(名)	
主な事業内容:				
直近1年間の売上高(□に「✓」印を記入して下さい)				
<input type="checkbox"/> 5,000万円未満 <input type="checkbox"/> 5,000万円以上 <input type="checkbox"/> 1億円以上 <input type="checkbox"/> 3億円以上 <input type="checkbox"/> 5億円以上(約 億円)				
エントリー理由:				
【今後の支援について】				
まちみらい千代田で実施している経営相談やアドバイス、専門家派遣等の支援を希望しますか?				
<input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない <input type="checkbox"/> 検討する				

公益財団法人まちみらい千代田 産業まちづくりグループ



〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3丁目21番地
ちよだプラットフォームスクウェア4F
TEL:03-3233-7558 FAX:03-3233-7557
URL http://www.mm-chiyoda.or.jp

※この表彰事業の調査事務は、(一社)ちよだ中小企業経営支援協会に委託しています。



第12回 千代田ビジネス大賞 募集!

千代田ビジネス大賞とは

公益財団法人まちみらい千代田では、中小企業の成長発展を支援することを目的として、経営革新や経営基盤の強化に取り組む企業を表彰します。

- 特徴のある優れた活動実績をあげている千代田区内の中小企業を表彰します。
- 表彰企業は、「まちみらいニュース」、ホームページに掲載する他、紹介パンフレットの作成、プレス発表等により広報します。

主催 公益財団法人まちみらい千代田

【後援】千代田区/経済産業省関東経済産業局/東京都/ (独) 中小企業基盤整備機構関東本部/日本政策金融公庫東京支店/
(公財) 東京都中小企業振興公社/ (地独) 東京都立産業技術研究センター/東京商工会議所千代田支部/
東京中小企業家同友会千代田支部/千代田区商店街連合会/千代田区商工業連合会/東京中小企業投資育成株式会社

賞の種類

◆大賞

最も優秀と認められた企業…………… 1社

◆千代田区長賞

千代田区にふさわしく特に優秀と認められた企業…………… 1社

◆東京商工会議所千代田支部会長賞

特に優秀と認められた企業…………… 1社

◆東京中小企業家同友会千代田支部長賞

社員教育を重視していると認められた企業…………… 1社

◆優秀賞

優秀と認められた企業…………… 数社

◆特別賞

特徴的取組みをしており、将来が期待される企業…………… 数社

表彰

◆表彰式は、令和2年2月6日(木)(予定)にちよだプラットフォームスクウェアにて開催します。

◆表彰企業には、賞状及び記念品を贈呈します。

表彰特典

◆表彰企業の紹介パンフレットを作成し、企業には1000部を無償で支給します。

◆表彰企業は、「まちみらいニュース」、ホームページで広く紹介するとともに、企業広告を無料で掲載します。

◆表彰企業に対しては、千代田ビジネス大賞のロゴの使用を許可し、名刺等に受賞した賞の名称とともに印刷し、企業PRとして利用することを許諾します。

◆大賞受賞企業は、プラットフォームスクウェア1階に社名を掲示し、その優秀な取組みを長くたたえます。

◆大賞、千代田区長賞、東京商工会議所千代田支部会長賞、東京中小企業家同友会千代田支部長賞、受賞企業に対し、次年度に限り東商ビジネスフェア出展費用を助成します。

エントリー資格

- (1) 区内に本店(営業の本拠)があり、1決算期以上事業活動している中小企業または個人の商店
- (2) 経営成績および財政状態が健全であること。



- (1) 個人は従業員数のみ、法人は資本金か従業員数のいずれか一方が該当していればエントリーいただけます。
- (2) 経営者、家族従業員は従業員数には入りません。

エントリー方法

(1) エントリーの方法

「エントリー申込書」にご記入のうえ、FAX(03-3233-7557)にてお申し込みください。
なお、(公財)まちみらい千代田のホームページからお申し込みいただけます。

URL <http://www.mm-chiyoda.or.jp>

(2) エントリーの締切…………… **令和元年8月31日(土)**

(3) 審査書類の提出

一次審査(書類審査)に際して以下の書類の提出をお願いします。

- ① 事業活動説明書、損益計算書(フォーマットあり)
- ② 直近3期分の決算書・確定申告書の写し(決算書・申告書は3期間に満たない場合はその期間分)
- ③ 営業案内・商品カタログ等事業内容が分かるもの

※審査書類の提出は **令和元年9月13日(金)** 必着をお願いします。

※審査書類は返却しません。

※審査書類は他の目的には使用せず、厳重に管理します。

審査方法

(1) 提出された書類に基づき一次審査(書類審査)を行います。

(2) 一次審査で一定の基準を満たしていると判定された企業には、調査員((一社)ちよだ中小企業経営支援協会所属の中小企業診断士)が伺い、ヒアリングによる二次審査(現地調査)を行います。

※二次審査に該当した場合には、調査員の訪問日程等の調整にご協力くださるようお願いいたします。

(3) 調査員は、調査結果から協議のうえ表彰候補企業を選定し、諮問委員会に推薦します。

(4) 諮問委員会では、表彰候補企業について総合的な見地からの意見を諮問委員から伺い、その結果を(公財)まちみらい千代田理事長に報告します。

(5) (公財)まちみらい千代田理事長が諮問委員会の意見を踏まえ、千代田ビジネス大賞表彰企業を決定します。

(6) 表彰企業は、表彰式会場にて当日発表します。(令和2年2月6日(木)予定)

審査基準

審査は、「社会・経済への貢献性」、「製品・サービスの革新性」、「企業経営の戦略性」の3項目を基本に行います。



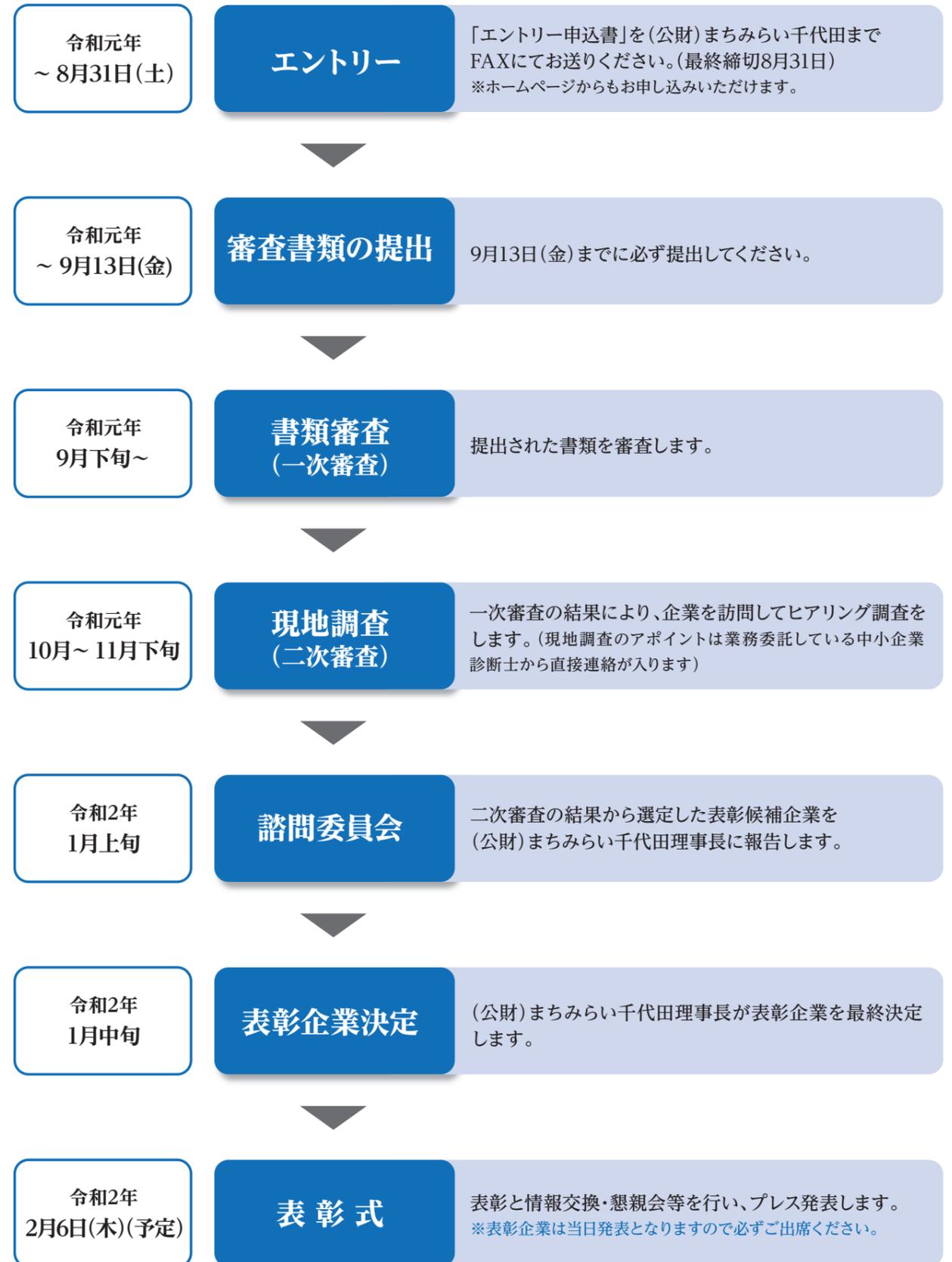
二次審査通過特典

- (1)「まちみらいニュース」への掲載
「まちみらいニュース」(発行53,000部)紙上で、すべての企業を紹介します。このため、企業紹介の原稿(100字程度)を審査書類とともに提出いただきます。
また、ホームページでも、企業名を紹介します。
- (2)中小企業診断士による経営相談や経営診断、アドバイス等が受けられます。
- (3)東京都中小企業振興公社実施の専門家派遣に対し、公社より採択を受けた企業の助成を優先します。
- (4)東京都立産業技術研究センター実施の実地技術支援に対し、都産技研より採択を受けた企業の助成を優先します。

第12回千代田ビジネス大賞諮問委員(予定)(敬称略)

- (1)経済産業省関東経済産業局地域経済部 地域振興課長 高崎宏和
- (2)公益財団法人東京都中小企業振興公社 総合支援部長 清水郁男
- (3)地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター
事業化支援本部 技術開発支援部長 清水研一
- (4)東京商工会議所千代田支部 会長 前川秀樹
- (5)東京中小企業家同友会千代田支部 支部長 木村光範
- (6)千代田区商店街連合会 会長 高山 肇
- (7)千代田区商工業連合会 会長 山本久喜
- (8)公益社団法人日本フィランソロピー協会 理事長 高橋陽子
- (9)その他中小企業の経営に高い識見を有する者

表彰式までの流れ



大賞

鈴木治作株式会社
代表取締役社長 鈴木 謙三

評価のポイント

1. 配管業でいち早くステンレス製品の優位性に着目し、昭和36年に販売を始め、顧客に必要な商品を予測して在庫を所有し、自動弁の内製化、禁油処理設備の所有など、顧客に価値あるサービスの提供を行い、確固たる地位を築いています。
2. 顧客との信頼関係を築きつつ、メーカー認定工場を持つ確かな技術力を有しています。
3. 90年以上に渡り蓄積された流体制御技術の経験とノウハウを活かし、企業とともに最適な配管設計を行い、プラント等の施設の安全性や生産性について提案するなど、専門商社の領域を超え配管業のパイオニアとしての地位を確立しています。

千代田区長賞

株式会社ゲネシス コンマース
代表取締役社長 安斎 誉彦

評価のポイント

1. 2011年、各社の映像解析技術がアナログに留まっている中、世界初のリアルタイム映像鮮明化装置を導入し、東日本大震災による福島第一原発発時の定点カメラ映像を鮮明化技術でクリアにし、テレビ映像での配信を可能にしました。
2. その後、第二世代のディヘイズ技術を実現し、第三世代映像のデジタルノイズ軽減技術の製品化を行い、防衛省、警察庁などの防犯カメラの画像を鮮明化し、国防、防犯、防災の一助として安全・安心に貢献しています。
3. 2020東京オリンピック・パラリンピック、2025年日本国際博覧会(大阪万博)開催に向け、セキュリティー対策がより重要となり、更なる技術開発が期待されています。

東京商工会議所
千代田支部会長賞

株式会社ユニフォームネット
代表取締役社長 荒川 広志

評価のポイント

1. 事業承継の成功事例として講演活動の傍ら、リーマンショック後に積み上がったデットストックの処理や震災等の多くの苦難を乗り越え、ドミナント方式で販売エリアを拡大し、SFA・WBSによる営業方式等の社内改革に取り組み、事業計画を浸透させ、3期連続の黒字を達成しています。
2. 業界でタブーとなっていた、各メーカー商品をセレクトしたオリジナルカタログの導入や導入企業紹介冊子を自社制作し、文化としての制服の素晴らしさを効果的にアピールしています。千代田区内のネットワークも広がり、先代からの思い入れがある神田を中心に今後の発展が期待できる企業です。

東京中小企業家同友会
千代田支部長賞

株式会社タイム
代表取締役 高木 道郎

評価のポイント

1. ITに興味をもつ新卒者を採用し、一定の時間をかけリーダークラスが若手を育てるメンター制度を設けており、内定した学生には、月に2日程度のプログラミングのインターンシップも行っています。
2. 受託開発の売上が多いものの、長年にわたって培った技術力を生かし独自システムの開発にも力を入れており、新製品「メカニカル錠前システム」は特許を取得し、技術力が高く評価されています。「登下校見守りサービス」、「連絡網サービス」は、外部企業との連携で販売を行い、採用実績のある大学とは、学生の推薦・インターンシップの受け入れ等、外部連携にも力を入れています。

優秀賞

株式会社ケアシステムズ
CEO 和田 俊一

評価のポイント

1. 第三者評価の評価項目は国、都道府県が定めており、自社が差別化することは不可能ですが、評価項目細部にわたる見直し・改善要求を提出し、評価品質の向上に寄与しています。評価件数は全国2位、高齢福祉部門の評価件数は1位となり、各自治体や福祉事業者から高い評価と信頼を得ています。
2. 外部調査員を取りまとめ、品質のコントロールが行き届いています。調査員資格の取得条件は厳しく、新たな人材確保が難しい中、経験値の高い調査員を育成し確保しています。最近では、台湾の評価事業始動時のシンポジウムに招かれ講演や発表を行うなど、第三者評価機関のパイオニアとしての地位を確立しています。

特別賞

スケラブルシステムズ株式会社
代表取締役 戸室 隆彦

評価のポイント

1. 海外メーカーのサーバー製品を企業側の依頼に合わせて調整し、国内企業に販売するモデルは、大手企業が参入しにくいニッチなものであり、大手IT企業からも依頼があります。また、中期的な経営も考えながら経営革新計画の策定や「ものづくり補助金」などの採択を受け事業を行っています。
2. 提供しているサーバー製品は、一般的なサーバー製品仕様を大きく上回り、情報処理の効率化と高速化が可能な革新的なものです。顧客は、大手企業・国立大学・研究機関が主ですが、大手IT企業を通じて販売する体制も構築され、技術力が代替できないものと高く評価されています。

特別賞

FTI JAPAN 株式会社
代表取締役 鳴海 健太郎

評価のポイント

1. キハダマグロの専門商社として、魚種を絞り調達先を確保し、品質基準やフェアトレードをてこにしたブランディングは、戦略性が高く、同業種では40数年ぶりとなる上場を目指しています。
2. 日本向けの品質確保のため、インドネシアの各漁港で獲れたマグロを選別し、日本の技術を移転したバリ工場で2次加工を行うことで、漁獲高全体の10%程度のみが日本に空輸されます。残りの食用部分は現地及び中国で消費され無駄がありません。日本へはHACCP適合の品質検査を実施して出荷し、品質検査画像判定用AIプログラムも導入し、更なる品質の向上に力を入れています。

特別賞

一般社団法人ビーンズ
代表理事 坂野 拓海

評価のポイント

1. 障がい者の就労継続支援であるB型事業所の運営は、障がい者の就労支援を推進し、工賃向上が求められる難しい事業ですが、全国平均の倍程度の高い賃金水準を設定し、障がい者の就労と自立を支援しています。福祉事業所では珍しい本格的な焙煎施設とカフェを併設し、焙煎や接客の仕事を学ぶことで自立に向けたトレーニングを行っています。障がい者の勤務時間を考慮し、営業時間を18時までとし、障がい者への負担に対し配慮がなされています。
2. 利益は、全て社会に還元されるウェルフェアトレードの仕組みを導入し、焙煎所で働く障がい者、開発途上国の生豆生産者の給与に還元しています。